


武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	男女共同参画推進事業			
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第1節 人権 2 男女共同参画			
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係	内線 242
	根拠法令等	男女共同参画基本法			
	目的	男女共同参画社会の実現に向け、関連する施策を推進する。			SDGsの取組 5 ジェンダー平等を実現しよう 
内容	男女共同参画センターを拠点として相談事業や各種施策を推進するとともに、各種審議会等への女性の積極的な参画を進める。				

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	審議会等への女性の参画率	%	目標	40	40	40
				実績	33.9	36.4	
達成率				85%	91%		
2	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	件	目標	—	—	—	
			実績	4	3		
			達成率	—	—		


事業経費				市民・議会等から寄せられた意見		
事業費(千円)	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	—		
財源内訳						
一般財源	273	3,452	4,471			
国都支出金	0	0	0			
その他	0	0	0			
人件費						
会計年度任用職員以外の職員(千円)	4,968	5,077	5,561			
所要人員(人)	0.65	0.66	0.71			
会計年度任用職員(千円)	0	0	0			
所要人員(人)	0.00	0.00	0.00			
合計(事業費+人件費)	5,241	8,529	10,032			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
ワーク・ライフ・バランス推進事業所を募集したところ、3社からの応募があり、審査の結果、3社全てを認定し、累計認定件数は14社となった。 また、アンコンシャス・バイアスやセクシュアル・マイノリティに関する意識醸成のため、市報でコラムを掲載した。 第四次男女共同参画計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定に向けて市民意識調査等を実施し、男女共同参画計画策定市民懇談会において提言をまとめた。 なお、会計年度任用職員(一時保育)の人件費は、事業費に含む。	男女共同参画施策の推進は、DV、LGBT、ワーク・ライフ・バランスなど、多岐にわたり取り組む必要があるため、様々な手段や媒体を用いた効果的な啓発活動の方策を検討していく必要がある。

今後の方針																										
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小・見直し	<input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																						
男女共同参画計画策定市民懇談会の提言を踏まえ、根強く残る固定的な性別役割分担意識の解消や女性のライフプランの選択支援など時代に即した次期計画を策定していく。 男女共同参画センターや男女共同参画推進市民委員会等と連携して各種施策を推進する。																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
		今後の方針																								
		コスト																								
成果	向上	削減	維持	増加																						
	維持			○																						
	低下																									
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																										

武蔵村山市 令和6年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	ウィメンズチャレンジプロジェクト事業		
	施策名称	第4章 誰もが学び活躍できるまちづくり 第1節 人権 2 男女共同参画		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	—		
	目的	女性の自立支援と働きやすい環境づくりの実現により、女性活躍推進の機運を高めるとともに、地域に眠る人材を掘り起こし、幅広い分野への女性の参画を促進して地域の活性化を図る。	SDGsの取組 5 ジェンダー平等を実現しよう	
内容	働く女性が結婚、出産、介護等を機に仕事を辞めざるを得ない状況の改善を目指すとともに、女性の就労機会を拡大するため、関係機関と連携を図り、各種相談や情報提供、支援等の充実に努める。男女共同参画センターにおいて、キャリアアップ講座や相談会、イベントを実施する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	1	ウィメンズチャレンジプロジェクトキャリアアップ講座延べ参加者数	人	目標	—	—	—
				実績	752	249	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		37,922	38,797	46,547	
財源内訳	一般財源	37,922	38,797	46,547	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		37,922	38,797	46,547	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効果率	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和5年度の実績	事務事業の推進に当たった課題
男女共同参画センター（緑が丘ふれあいセンター）において、ウィメンズチャレンジプロジェクトを実施し、延べ249人の参加があった。	—

所管課の評価	今後の方針			
	【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
	引き続き、ウィメンズチャレンジプロジェクトを推進し、女性の就労機会の創出やジェンダー平等の意識醸成を図る。			
	成果	今後の方針		
		コスト		
削減		維持	増加	
向上				
維持		○		
低下				

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)